



建設科は土木コースと建築コースの2つのコースを合わせて1つのクラスとなっています。各コースの定員は19名です。本校への進学を考えている中学生の皆さんに向けて、各コースの紹介をします。もし興味をもったら建設科への進学も考えてみてください。皆さんと出会う日を楽しみにしています。

## 建設科の紹介

### 土木コース



土木コースでは、橋梁や道路などの生活に必要な社会基盤について学べます。将来、建設現場の安全や工程を管理して期限内に工事を完成させる現場監督になる生徒を育成しています。そのために必要な知識や技術を多くの教科に振り分けて、少しずつ学ぶことができます。在学中に測量士補や2級土木施工管理技士補に合格する生徒もいます。実習では測量に力を入れて取り組んでおり、外部の大会に出場する生徒もいます。今年度は鳥取県大会と中国地区予選で優勝し、高校生ものづくりコンテスト全国大会（測量部門）に初出場します。

多くの卒業生が地元の建設業で働いており、多くの事業所が本コースの生徒を求めています。また難関ではありますが、土木系の公務員に合格する生徒もいます。

### 建築コース



建築コースでは、建築物を建設するために必要な幅広い知識や技術を多くの教科に振り分けて、少しずつ学ぶことができます。建築製図では図面の読み方や線の引き方から学び、3年生になると住宅の設計をして図面を描く課題にも取り組みます。本コースで指定科目を修めて卒業すると2級建築士の受験資格が得られます。在学中に2級建築施工管理技士補の取得に挑む生徒もいます。課題研究の授業や放課後の取り組みで建築コンテストに出品する作品を作る生徒もおり、総合的に建築を学んでいます。

卒業後は、就職が約5割、進学が約5割です。進学して勉強を続ける生徒もいます。就職では建築関係だけでなく、建築以外の分野で活躍している生徒もいます。